



# 酒田駅の出札窓口廃止を提案

## 駅における販売体制の見直しについて 提案を受ける

新潟地本は12月15日に団体交渉を行い、支社側より「駅における販売体制の見直しについて」の提案を受けました。

酒田駅に「話せる指定席券売機」を導入することで出札窓口を廃し、より柔軟な働き方を実現するというものです。これにより酒田駅の要員を△4ととしています。

今後営業職場の仲間を中心に議論を進めていきます。

## ■ 提案内容: リモートマルスを導入し酒田駅の標準数を△4に

### ● 実施概要

将来にわたる環境の変化に対応するため、「話せる指定席券売機 (リモートマルス)」を導入し、販売体制の見直しを図る。その上で、一部の交代勤務を解消することなどにより、より柔軟な働き方を実現する。

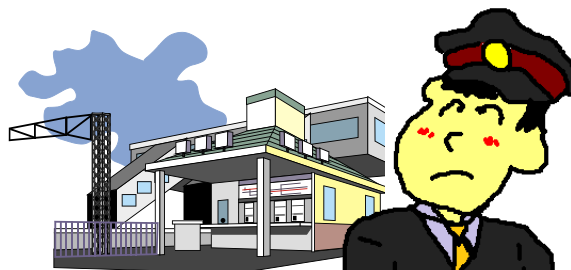
### ● 対象箇所及び実施時期

酒田駅 2021年度末ダイヤ改正

### ● 体制について

副長 △2 (実施後標準数は9)

係員等 △2 (実施後標準数は14) 計 △4



## ■ 交渉のポイント: 窓口は廃止し出札の配置を見直し

- 現在3台ある自動券売機のうち1台を置き換え、リモートマルス1台、MV1台、EV1台とする
- リモートマルスの稼働時間は6時から23時。オペレーター対応は8時から20時
- 先行して導入した浦佐駅では苦情などの問題は生じていない。対応時間は平均で4~5分
- 副長、係員等とともに泊まり勤務を見直す。出札専属の配置を見直すことで△4とする
- 臨時窓口用としてマルス端末自体は残す。直ぐに対応できるよう電源は毎日投入する
- 発券技術の維持・継承のために、自駅のマルス端末での練習や鶴岡駅への出張などを検討

# 駅職場の未来をつくるために 東日本ユニオンに結集しよう!